

2014年度 第1回 国内シンポジウム

近代日本仏教と親鸞

入場無料
事前申込不要

会場：龍谷大学 大宮学舎 清和館3階ホール

日時：2014年5月17日（土）13:00（開場 12:30）～ 18:00

プログラム		総合司会：岡田正彦（天理大学）
12:30	開場	
13:00	開会挨拶：桂紹隆（龍谷大学文学部教授、BARCセンター長）	
13:05	趣旨説明：Daniel FRIEDRICH（マックマスター大学）、Orion KLAUTAU（ハイデルベルク大学）	
13:15	第1セッション「教団における親鸞像の諸相」 報告1：引野亨輔（千葉大学） 「江戸時代の親鸞」 報告2：岩田真美（龍谷大学） 「幕末維新期の本願寺教団と親鸞研究の再編」 報告3：Daniel FRIEDRICH（マックマスター大学） 「門徒物知り?—現代真宗門徒の親鸞像」 コメント：平雅行（大阪大学）	
15:05	休憩	
15:20	第2セッション「帝国日本と親鸞」 報告1：碧海寿広（BARC博士研究員） 「読まれた親鸞—『歎異抄』の明治」 報告2：近藤俊太郎（本願寺史料研究所） 「親鸞と社会主義」 報告3：Orion KLAUTAU（ハイデルベルク大学） 「帝国日本における親鸞とナショナリズム」 コメント：福島栄寿（大谷大学）	
17:10	休憩	
17:25	フロアからの質問・全体討論	
17:55	閉会の挨拶：中川修（龍谷大学文学部教授）	

主 催：龍谷大学 アジア仏教文化研究センター（BARC）

問い合わせ先：龍谷大学 アジア仏教文化研究センター
TEL (075) 343-3808 URL: <http://barc.ryukoku.ac.jp/>